

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	文学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門）

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 「人文学の幅広い教養」と専門的知識のバランスの良い習得を向上させる。	→複数分野専攻制 (Multidisciplinary Studies : MDS) および文学内副専攻の履修者数および修了者数	B	B	B	B	/
2. 学位授与の基準を向上させる。	→文学部GPA分布	D	D	C	C	/
3. 卒業生の進路決定率を上げる。	→本学キャリアセンターによる進路調査データにおける就職決定率、大学院進学率	C	C	C	B	/
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	MDSの履修者は昨年度より減少した(2011年度39名→2012年度23名)が、修了者は増加した(6名→9名)。文学部内副専攻については履修者・修了者とも増加した(履修者:80名→92名;修了者:49名→65名)。いずれの制度についても、履修者に占める修了者の割合は増大した(MDS:15%→39%;文学部内副専攻:61%→71%)。修了の可能性について熟慮した上で制度を利用する傾向が出てきたと考えている。多少の変動はあるものの、目標の進捗としては一定の効果を上げている。
目標2	2012年度の4年生の卒業時における平均GPAは、2011年度と変わりなく2.09であった。成績不振者に対しては、個人面談によってその原因を究明する試みを開始しており、今後効果が出てくることを期待している。また、演習など少人数科目をより充実させることで指導を強化し、学力の向上に努める。なお、成績優秀者に対しては育英奨学金を交付し、毎年6月には学長出席のもと授与式を開催している。
目標3	就職決定率、就職率ともに前年度よりも上昇している(就職決定率:93.9%→95.0%;就職率:77.6%→82.5%)。特に就職率については前年度より4.9ポイント上昇した。また、内定企業への満足度も前年度と比較して上昇しており、学生の就職状況としては概ね良好といえる。
備考	